

シリーズ
原発・いのち・みらい
その88

東電福島第一原発 事故後の甲状腺超音波 検査データの検証(前編)

理事 種市 靖行（白山市・整形外科）

部会と親会で異なる指摘

昨年9月22～23日に、愛媛県松山市で開催された第39回保団連医療研究フォーラムに出席し、「東京電力福島第一原発事故後の甲状腺超音波検査データの検証」をテーマに報告してきた。この内容を前編と後編に分けて紹介したい。

2011年3月11日の東北大地方太平洋沖地震に引き続き発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故は、国際原子力事象評価尺度で最悪の「深刻な事故」であるレベル7と評価されている。同じ評価である1986年発生のチェルノブイリ原発事故汚染地域では、小児甲状腺がんが多発したが、日本からの救援・調査団によって、放射性ヨウ素の内部被ばくがその原因であると判明した。東京電力福島第一原子力発電所事故でも同様の懸念があったため、住民からの強い要望もあり2011年10月より県民健康調査甲状腺検査が開始された。

2024年9月現在、検査の結果に関しては甲状腺検査評価部会で、3回の取りまとめが行われている。

検査1巡目は甲状腺外科医の清水一雄氏が甲状腺検査評価部会長に指名され取りまとめが行われ、その後、親会である県民健康調査検討委員会に部会案が提出されて、検討委員会でさらに議論を行った上で中間取りまとめとして報告されている。部会取りまとめと親会での取りまとめでは、どちらも甲状腺がんの罹患統計などから推定される有病数に比べて数十倍のオーダーで多く発見されていること

不正確な結論が一人歩き

2回目の取りまとめ以降は、放射線疫学等が専門である鈴木元氏が甲状腺検査評価部会長を務めている。2巡目の検査結果としては、避難区域・浜通り・中通り・会津地区の4地域区分において、推計線量が上昇するに従い甲状腺がん発見数が増加するという線量効果関係が認められた。しかし、鈴木元部会長は取りまとめを確定する最後の部会です。急いで線量地域区分をUNSCLEAR（原子放射線の影響に関する国連科学

委員会）の区分に変更した資料をもとに、線量効果関係を認められなかったことを根拠に、「甲状腺がんは放射線被ばくの間の関連は認められない」という結論を示した。その後、検討委員会でも議論されたが、多くの委員から多数の反対意見が出たため、当時の検討委員会の座長である星北斗氏は、取りまとめとは別に「甲状腺検査評価部会「甲状腺検査本格検査（検査2回目）結果に対する部会まとめ」について」という文

書に反対意見を記載し、甲状腺検査評価部会の取りまとめは修正せず確定させた。その結果、2巡目の検査では「甲状腺がんは放射線被ばくの間の関連は認められない」という結論だけが事実のように伝えられている。

3回目の取りまとめでは、検査1巡目から4巡目までを総合して取りまとめられているが、やはり線量効果関係がないことを理由に、「甲状腺がんは放射線被ばくの間の関連は認められない」と結論づけている。しかし、部会員の中で唯一疫学が専門の祖父江孝氏は、放射線被ばくとの関連がないと示すことはできておらず、「関連についての結論を記述することは難しい」ということが本来の結論になるはずであり、今回の取りまとめに関しては基本的に賛同できず、異なる意見を持った委員がいたと記載するよう注文をつけており、最終的な取りまとめにもそのように記載されている。また、本来であれば甲状腺検査評価部会設置要綱第1条に記載されているとおり、「病理・臨床・疫学等の観点」から多角的に評価をすべきであるにもかかわらず、疫学の専門家が賛同できないと意見しているニセ疫学的手法のみで評価がなされている点も問題である。しかし、報道では「甲状腺がんは放射線被ばくとの間の関連は認められない」という短い言葉だけが一人歩きし、不正確な結論が常識化されている。

（次号に続く）



謹賀新年 2025年

本紙を作成するにあたり、その製作費の一部を掲載各社よりご協賛いただきました。ありがとうございました。



まごころで健康を

アルプ Academic Laboratory Pharmacy

株式会社 アルプ 本社 石川県金沢市近岡町309番地 〒920-8217
TEL:076-237-4230 / FAX:076-237-8027
www.alp-grp.jp

石川県保険医協会グループ保険制度 事務幹事会社



太陽生命保険株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-11-2
公法人部 TEL(03)3272-6042



富木医療器株式会社

本社/〒920-8539 金沢市間屋町 2-46
TEL 076-237-5555(代) FAX 076-237-6584
支店/金沢・富山・福井 営業所/七尾・高岡
ホームページ http://www.tomiki.co.jp/

すてきな未来応援します
フコク生命

フコク生命のホームページ
http://www.fukoku-life.co.jp

富国生命保険相互会社 金沢支社
〒920-0853 金沢市本町 2-11-7 TEL:076-263-8851
石川県保険医協会 (グループ保険・年金保険) 共済制度引受会社

「石川保険医新聞」「病院マップ」などを印刷させていただいております。
保険医協会会員の先生方の自費出版などは、格安にて承ります。



株式会社 橋本清文堂
HASHIMOTO SEIBUNDO

〒920-0059 金沢市示野町南51
TEL(076)266-0555 FAX(076)266-0880
https://hs-plan.co.jp/

医系専門予備校
合格者数 No.1

メディカルラボ金沢校

〒920-0031 金沢市広岡 2-13-37 ST金沢ビル5F
TEL.076-254-0505 FAX.076-254-0555
https://www.medical-labo.com/



BESTパートナー
大樹生命
日本生命グループ



大樹生命保険株式会社 金沢支社

〒920-0853 石川県金沢市本町 2-15-1 ポルテ金沢 8F
TEL:076-263-3256 https://www.taiju-life.co.jp/

明日の健康と新産業創造のパートナー

丸文通商株式会社

金沢市松島1丁目40番地
TEL:076-269-1881 FAX:076-269-2522



ENEOS 総代理店



株式会社 三谷サービスエンジン

〒921-8801 石川県野々市市御経塚3丁目47番地
TEL:076-214-3311 (代表)
FAX:076-214-3312

(有)ヒポクラテス

代表取締役 三宅 靖

保険医協会の共済制度を取り扱っています。

〒920-0853 金沢市本町2丁目11番7号 金沢フコク生命駅前ビル7階
TEL (076) 222-5373
FAX (076) 231-5156



ネットワークのセキュリティ対策から
オフィスデザインまで、
ビジネスソリューションを
ワンストップサービスで提供しています。

イワイ株式会社

〒920-8205 石川県金沢市大友2丁目83番地
TEL:076-239-3252 FAX:076-239-3251
http://www.iwai-gr.co.jp



人と医療、全てのために。

セントラルメディカル株式会社

本社
〒920-0024 石川県金沢市西念3丁目1番5号
TEL. 076(262)1111(代) FAX. 076(223)7255
富山支店・福井支店